

社会福祉施設における交通事故（道路）災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	9～10	訪問先に向かうため社用車を運転中、店舗駐車場から突然車線上に車両が進入してきた。確認と同時にブレーキをかけたが、スリップして回避できず、自車の右前部と相手車の左前部が衝突し、その反動で左側のゴミステーションへ衝突した。	39～99	50
1	12～13	訪問看護の仕事を終えて、営業車で向かっている途中、トンネル内で急にめまいがし、対向車線にはみ出し、対向車と衝突をした。	46	1～9
1	20～21	訪問介護利用者宅へ公用車で移動途中、進行方向である交差点の信号が青であることを確認した上で直進していたが、交差する道の左側から相手方の車が出てきて、ブレーキを踏む間もなく衝突し、エアバッグもしくはハンドルに腹部を強打した。	29～49	30
1	10～11	事務所近くの歩道にて自転車走行中に歩道中央に設置してあるポールに気付かず衝突し左膝を負傷した。	60	1～9
1	18～19	児童発達支援室のサービスを終了した児童を送迎中に運転手が左折しようとしたところ、児童から「違うよ」と指摘を受け、慌てて車をバックした際に後ろの車の前方部にぶつかってしまった。なお、被災労働者は後部座席にいて、当たった衝撃のため、右首と右肩に強い痛みを生じた。	29～49	30
1	13～14	運転席後部に乗り訪問介護に車で向かう途中、前方に停車中の車に追突し、運転席にぶつかり、首・左脇・右腕・左足を負傷した。	64～29	10
1	8～9	最初の利用者宅での仕事を終え、次の利用者宅の介護サービスに向かっている途中、前方の自動車が路肩に停めてあったトラックを避けて走行した所、前方から車が進入してきて、急ブレーキをかけ、自分が運転していたバイクのブレーキが間に	50～29	10

		合わず、ぶつかってしまい負傷した。		
1	16~ 17	被災者が雪を軽トラで捨てに行く作業中、交差点の信号機前で前の車の後ろに停車中、後方より、車両に追突された。その衝突により前方の停車車両に玉突きとなり、負傷した。	69	30 ~ 49
1	16~ 17	夕方の送迎で、利用者を1人乗せ自宅へ送る時、主要道路に出る所の下り坂になっている信号のない交差点で、右折待ちで停車していた。その時、後方から来た車が、左後方にぶつかってきて、首と背中を打った。相手の運転手は、西日がまぶしくて気付けなかったと言っている。なお、被災者以外の職員は同乗していない。	22	30 ~ 49
1	7~8	自宅から訪問看護宅へ向かう途中、対向車道路は路面凍結したことによりスリップし、横滑りをしながら正面衝突となった。	31	—
1	8~9	訪問介護サービスにて、事業所から現場へ電動自転車で移動中（小雨で路面は濡れていた）、坂道に入るため左へカーブした際、スリップして転倒しそうになり、左足で踏ん張ったが踏ん張りきれず転倒し、左足が自転車の下敷きになり負傷した（左足関節脱臼骨折）。	53	1~ 9
1	9~ 10	お客様宅でのサービスが終了し、原付バイクで自宅へ戻ろうと走行中、対面通所可能だが、狭い道路と狭い道路の交差点で飛び出し確認のため道路の真中付近へ寄ったところ、対面から進んできた自動車と正面衝突して転倒し、右足と頬を打った。	72	10 ~ 29
1	9~ 10	車で利用者様の送迎時、右折しようとした際に前方から車が来たので、左の道にバックで入ろうとしたところ、左側の住宅の壁に衝突し、首の右側を痛めた。しばらく様子を見たが、首の右側の痛みが強くなっていった。	24	30 ~ 49
1	17~ 18	利用者宅より事務所へ帰ろうと自転車で移動していた所、道路の曲がり道でゆるやかな登り坂を上ろうとしペダルをこごうとした時にペダルを踏みはずし、右に倒れて両手をついて倒れ、左手首にひびが入った。	62	10 ~ 29
2	14~15	交差点において、本人が運転する車両が一時停止の標識の認識を怠り、同交差点に進入してしまった。当時、本人が運転していた車両の速度は30~40km/hと思われる。尚、本人は、衝突直後の記憶がなく、相手車両の運転手の方が救急車を手配	25	1~ 9

		し、そのまま病院へ緊急搬送された。		
2	17~18	用車でお客様宅に訪問介護に向かう途中、信号のない交差点で停止中に、後方から相手方（第三者）車両に追突され体を強打して負傷した。	38	—
2	8~9	利用者の送迎の為、車を運転し、交差点に差し掛かった時、右より交差点に進入してきた車が有り、急ブレーキを掛けたが間に合わず相手方車体の後輪付近に激突した。衝突のはずみで相手車両が、左手より交差点に進入しようとしていた車両Bに当たり止まる。（当時路面凍結有）	36	50 ~ 99
2	15~16	当運営施設へ自動車に向かう途中、交差点において、安全確認を怠り、一時停止をしなかったため、左側から垂直に走行してきた車に、衝突され、車が横転し、首を負傷したものである。	63	—
2	17~18	利用者のケアを終え自転車で移動中、歩道を右側からスピードを出した自転車に出会い頭衝突し、自車は右側に転倒し右肘と腰部を打撲する。	35	10 ~ 29
2	11~12	訪問介護利用者宅に向かうため、自転車で走行中にトラックが猫か何かを避けようとして激突した。	26	—
2	14~15	バイクで北に直進中、最初の交差点にて、右方向一旦停止で乗用車が停止したのを確認して直進したが乗用車が出て来て、避けきれずにバイク後輪付近に接触し、転倒する。	49	100 ~ 299
2	10~11	在宅介護の仕事を終えて、利用者様のガレージからバイクでエンジンをかけずに後ろ向きに出ようとした時に、後ろ向きに進行していた相手方の車と衝突し、転倒して負傷した。	61	30 ~ 49
2	15~16	特養施設へ書類を届ける為、進入口よりバイクで左折した。後方より車の音がしたので左側に寄ろうとしてバイク前輪が縁石に接触した。身体が歩行道路に飛ばされてしまった。左肩から激突し、左膝も裂傷した。近くにいた高校生が病院へ連絡してくれ、病院にて初期治療を受けた。左膝は、すぐに縫合を行い、左肩はレントゲン及びCTを撮り、骨折していることが判明した。入院と言われたので自宅に近い医療機関へ転院を希望した。	63	50 ~ 99

2	11~12	事業所所有原付バイクで路地を北上中、東から来た小型スクーターと四つ角の中心辺りの出会い頭に衝突した。小型スクーターが原付バイクの前カゴ部に右側から当たった為ハンドルが取られ、右側に転倒し、右膝外側と左足首内側を打撲した。	45	~ 299	100
3	15~16	利用者宅に向かって走行中、わき見運転をしてしまい、道路左側の電柱に激突した。エアバッグが作動し、右腕と胸部を強打し骨折した。	54	~ 49	30
3	10~11	訪問入浴の支援で、入浴車の助手席側後部座席に乗車していた。ほかに運転者と添乗者の計3名で移動中、車両が片側2車線道路の右車線を走行中に、左車線の車が急に車線変更してきたため減速したとき、後続車の大型トラックに追突され、首と腰を負傷した。	43	~ 99	50
3	10~11	訪問入浴の支援で、入浴車に運転者として乗車していた。ほかに2名の同乗者とともに、車両は片側2車線道路の右車線を走行中、左車線の車が急に車線変更してきたため減速したとき、後続車の大型トラックに追突され、背部と頸部を負傷した。	39	~ 99	50
3	14~15	交通量が多い県道を自転車で走行中、道幅が狭かったが、自動車の往来が激しかったのでもう少しはじに寄ろうとしたところ、小雨が降っていて路面が滑りやすくなっている状況に加え段差があり、滑って左側に転倒した。	56	~ 99	50
3	17~18	事務所駐車場内にて、帰ろうと駐車場出口に向かい直進していたとき、相手は駐車場に頭から入れていた車をバックさせていた。相手は後方を目視していたが見えておらず、クラクションを鳴らしたが、そのまま相手車左後方部分と当該車の右前フェンダーが接触した。	53	~ 29	10
3	15~16	外出活動から事業所へ戻る帰り道の一般道路上において、車2台に分乗し前後に並び走行中、追走車が前方不注意にて前走車に追突し、前走車に乗車していた被災者が腰椎および胸椎を捻挫した。	54	~ 29	10
3	15~16	利用者宅へ自転車で移動中、横断歩道を横断しようとした際、自転車を降りて車の通行が途切れるのを待っているとき、駅方向から来た車が停車したため、自転車を押して横断を始めた。そのあと道路の4分の1程進んだところで、駅方向から来た自転車と衝突して転倒し、右腕を骨折した。	55	~ 499	300

3	14~15	前方の信号が赤のため停止中、7人乗り乗用車2列目中央に本人が座っているとき、乗用車後方左側に加害者小型トラックが脇見運転の上ノーブレーキで追突した。はずみで乗用車は前方の大型トラックに追突し、本人はその衝撃で一時意識を失うも、同乗者に促され下車し、救急搬送された。	62	50 ~ 99
3	13~14	雨天のなか、訪問介護業務のためご利用者宅へ向かい、合羽を着用し市道（山道）を電動自転車で走行中、右カーブ下り坂で転倒した(自損事故)。その際に右側から転倒し、頭部頸部・右肩～右腕・右顔面・左肋骨を打撲し、顎部に裂創を負った。周囲にいた観光客に介抱され、救急搬送された。	45	10 ~ 29
3	15~16	信号の無い交差点を自転車で渡っている時に、車と衝突して負傷した。	60	30 ~ 49
3	16~17	双方に止まれの標識がない交差点で、デイサービス利用者送迎用の軽四車両を運転中に、左側から車がきていることに気付いたが、距離が近すぎてぶつかると思い、アクセルを踏んで避けようとしたが間に合わず、車両の後部に相手の車両のフロントがぶつかり、軽四がはじき飛ばされ回転し、田んぼに落ちた際に頸部を負傷した。	48	50 ~ 99
3	8~9	車で通勤し、従業員駐車場内の右奥から2番目の場所に駐車しているのを確認し、車から降り扉を閉めたのを自車内後ろで目視確認するまで、停車して待ち、その車右側スペースに止めようと、運転席側のドアを開け縁石ギリギリに止めようと目視で下がった。その際、時計をカバンの中から探そうと下を向きながら歩いていた被災者が、バックしてきた車の後方と衝突し、倒れた。	49	50 ~ 99
3	11~12	優先道路の交差点を直進で進行中、右方向より相手車両が飛び出してきたが、衝突を回避する事が出来なかった。相手車両との衝突後は脳震盪を起こし動くことができず、救急搬送された。	57	100 ~ 299
3	11~12	デイサービス利用者宅へ車で移動中、停止線標識なしの丁字路にて、減速して安全確認をしようとしたが左側に住宅があり、前に出ないと左右の確認が取れない環境と不注意が重なり、前に出すぎて右方向から来た車と衝突し、前胸部および左中指を打撲した。	52	100 ~ 299

3	7~8	朝の送迎時、利用者宅に向かう途中、十字路の出会い頭でデイバスと乗用車が衝突した。双方の運転手の前方不注意による事故であった。デイバスに同乗していた介護職員がシートベルトのない補助席に座っていたため、全身を打撲し、救急車で病院に搬送される。	64	10 ~ 29
3	8~9	入居者送迎のため、他の従業員が運転する車両に同乗し、施設駐車場から出発しようとしたところ、当該車両が急発進し、道路向かいの家屋の壁に衝突した。	75	10 ~ 29
3	9~10	利用者宅を出て車で走行中、自宅から出て右折しようとした車に当てられ頭部、頸部、右膝を負傷した。	36	10 ~ 29
3	12~13	訪問介護生活援助で買い物代行サービスを実施中、バイクにて利用者の自宅に戻る途中で車進入止めのU字ポールの間をバイクにてすり抜けようとした時、U字ポールに右足下腹部を強打し、打撲圧迫による切創を負い出血した。	65	10 ~ 29
3	14~15	利用者様との事前面談の為、自身の勤め先である事業所から病院へ車で向かう途中、交差点の信号が赤に変わったため停止していたところ、2台後ろの加害者運転の車が、本人の後ろの車へ追突するという玉突き事故が発生し、外傷性頭部症候群、背部打撲、左手打撲を負った。	38	100 ~ 299
3	17~18	サービス提供のため利用者宅へ向かっている際、相手方の私有地を通過時、相手の車がバックする事に気付き、左方向へハンドルを切ったが間に合わず、相手の車と接触した。	31	50 ~ 99
4	16~17	ケアマネジャーとして別拠点にいる利用者様にデイサービス利用票を届けるため駐車場に車を止めようとした際、ブレーキとアクセルを踏み間違えて足が滑り（原因不明）、車を支障物にぶつて停止した。その衝撃でシートベルトに胸をぶつけて骨折した。	60	30 ~ 49
4	13~14	被災労働者の運転するバイクがウインカーを出しながら反対車線を横断しようとしたところ、直進車線で反対から進行してきた軽トラックに衝突した。	25	10 ~ 29

4	11～ 12	バイクで利用者宅から利用者宅へ移動中、交差点を右折する為に右車線に入ったところ、すぐ後ろの乗用車がミラーの死角に向かっていて見えず接触して転倒し、骨折した。	53	～ 29
4	9～ 10	事務所から利用者様宅へバイクで向かう途中、道路上でマンション駐車場から出てきた車に、乗っていたバイクの横をぶつけられて転倒した。	48	～ 29
4	16～ 17	次の訪問先へ向かう途中のT字路手前道路で、前方ワゴン車が左折ランプを点灯していたので、信号を左折すると思ったが手前の駐車場へ入り、ぶつかると思い急ブレーキで右に車体を傾けたところ、車には当たらずに転倒した。	56	～ 29
4	12～ 13	利用者宅より移動中、細い道を西に向かって原付自転車で走行中、T字路（信号、停止線なし）にて右折しようとしたところ、北向き一方通行で走行してきたタクシーと接触した。	54	～ 29
4	11～ 12	路上にて、介護保険サービス利用者宅より自転車にて当施設に戻る際に車道と歩道との段差でバランスを失い転倒し、左手と右足を負傷した。	61	～ 49
4	10～ 11	雨天時、利用者宅から利用者宅へ電動自転車で移動中、車道を走行していたが後ろから車がきたので歩道へ入ろうとしたところ、タイヤが滑って転倒し、右目下、右膝、両手を負傷した。	43	～ 29
4	17～ 18	児童の送迎のために車の運転業務中、葬祭場の手前で警備員が停止するよう合図していたので停止していたところ、後ろから来た車両に追突され全身を強打した。	29	1～ 9
4	16～ 17	利用者送迎の帰りに走行中、店出入口付近で、前方を走行していた車が店舗へ進入しているところへ追突した。	56	～ 299
4	10～ 11	訪問介護の業務の中で、利用者の依頼した買い物に車で向かう際、斜面地の駐車場で方向転換を行おうとした際に運転を誤り、駐車場の柵を突き破って7～8メートル下の地面に転落した。	67	～ 49
		原付バイクで訪問介護の移動中に雨が降っており、カッパ、ヘルメット着用、水滴		30

4	11～ 12	で前が見えづらくなっており、信号で急ブレーキをかけたところスリップし転倒した。その際に右側に倒れ、右腕、右脚、左手の甲打撲足のつけ根の内出血、右ひざ、右足の甲を擦りむいた。	53	～ 49
5	9～ 10	出勤時、保育園駐車場に車を駐車しようとした際に耳の痛みを感じて気を取られ、アクセルを踏んだまま前進し、前方にあったポールに追突してしまった。	23	～ 29
5	17～ 18	送迎からの帰り道に誤って信号機に衝突してしまった。運転中にボーっとしてしまい運転操作を誤ってしまった事が原因である。車両は信号機にめり込んで全損し、頸椎捻挫、多少の擦り傷、切り傷を負った。	20	～ 299
5	11～ 12	利用者宅に向かうため原動機付自転車を運転中、見通しのよい十字路を直進しようと、十字路に進入した。その際、一時停止をした様子だが、完全ではなかったため、相手の車の運転席右前方のピラー付近に衝突した。そのはずみでヘルメットが脱げて、そのまま後方に転倒して後頭部を強打し、頭蓋内出血、肋骨骨折及び骨盤骨折を負った。	62	1～ 9
5	13～ 14	自動車でショートステイの利用者様を、自宅から当老人ホームに送っていた際に事故が発生した。複数事故が起きている、緩やかな右カーブの細い道路にて、法定速度で走行中、自動車の左前方を塀にこすってしまったため、焦ってハンドル操作を誤り、左側面をこすりながら電柱に衝突した。ほぼ真正面からぶつかったため衝撃が大きく、エアバックが作動してしまい、鎖骨を骨折した。	59	～ 99
5	20～ 21	強度行動障害者への支援についての研修会参加のため出張中、研修会を終えての帰り道、高速道路を走行中、右前輪が道路上の落下物に接触した。同乗者が確認のため車から降り確認中、走行車線を走っていたトラックが後方より追突した。当方労働者は運転席に乗車中にて負傷し、同乗者は無傷であった。	44	～ 29
5	21～ 22	交差点（片側二車線）にて、走行中の車の左側面でバイクにて走行中、右車線を走行中の車がウインカーを付けずに左車線に進入してきた。それを避けようとした左車線走行中の車が急ハンドルを切り、当バイクと接触し、バイクが転倒した。	33	～ 99
5	8～9	自宅からお客様宅へ自転車で移動中、交差点で左から来た自転車と衝突し転倒し、	63	～ 10

		後頭部を打った。		29
5	9～ 10	1件目の訪問先に自転車で向かう途中、側道を右折した時後輪が滑って転倒し、その時に左膝を強打し、強い痛みを感じた。	44	30 ～ 49
5	13～ 14	訪問介護サービス中、利用者宅から買い物に行く途中、路上にて事故が発生した。原付バイクで道路を南進し、駐車場へ入る為に右折しようとしたところに、後から追い越そうとしたバイクと接触し転倒した。相手方のバイクが当方本人の足に直撃し、右足首に骨折を負った。	73	30 ～ 49
5	13～ 14	荷物の積み込みの際、利用者にバックドアを開けてもらうため車のカギを渡した。利用者は、車内が暑かったため冷房をかけようとしたところ、誤ってエンジンをかけてしまい、車が後退し始める。車を止めようとしたところ、引っ掛かって引きずられてしまった。	67	30 ～ 49
5	16～ 17	社ユーザーでデイサービス送迎時、交差点で信号待ちで止まっていたところ、後ろから追突された。	32	30 ～ 49
5	8～9	利用者宅から利用者宅へ原付バイクで移動中、交差点で青信号を右折しようとした時、右方向から来た4tトラックの信号無視により衝突し、意識不明で救急搬送され、左鎖骨、肋骨、鼻骨を骨折し、肺挫傷、肝損傷を負った。	36	10 ～ 29
6	14～ 15	ご利用者宅へ向かうため、公用車輛にて走行中、下り坂を下りきり、ゆるやかな右カーブを曲がりきる付近でセンターラインをオーバーしてしまい、対向車線を走行していた貨物トラック後部に接触し、貨物トラックの後を走行していたダンプと正面衝突する。その後、救急車にて病院へ救急搬送される。	57	10 ～ 29
6	9～ 10	訪問介護サービス中、先のお客様宅から次のお客様宅へ移動中、右折しようとした際に自動車が見え、グレーチングの上にタイヤがのった時にブレーキを掛けたため、タイヤが滑り右側に転倒し、負傷した。	42	50 ～ 99
	12～	訪問介護のヘルパーとして勤務中、電池を購入するため、利用者宅から近所のコンビニに行き、利用者宅へ自転車で戻る途中、点字ブロック上で滑って転倒した。		10

6	13	その際に着地を誤り、一度事業所へ戻るが痛みがひかず、腫れが酷くなった。右足首の関節脱臼骨折と診断された。	37	～ 29
6	9～ 10	利用者を送迎するため添乗員として社用車で移動中、交差点にて直進レーンから右折レーンに入って右折する際に、後続車両に接触され負傷した。相手車両はそのまま逃走したため、ナンバー等は確認できず、警察へ当て逃げの被害届を提出した。	51	50 ～ 99
6	14～ 15	利用者宅へ訪問する途中、十字路の交差点をバイクで走行中に、左側から出て来た乗用車と接触した際に転倒し、左肩脱臼、靭帯断裂（2ヶ所）が発生した。	42	10 ～ 29
6	0～1	丁字路を直進中に、進行方向右側より左折して来た車と衝突した。	32	1～ 9
6	4～5	交差点付近で信号待ちをしている時、居眠りしてしまいブレーキペダルから足を離してしまった為、前方に停車している自動車に追突してしまった。	49	10 ～ 29
6	15～ 16	リハビリ利用者を自宅まで送迎するため、送迎車の助手席に被災者が同乗していた。送迎後、利用者の自宅前の路地から車が飛び出してきたため、運転手が急ブレーキを踏んだところ、シートベルトを着用途中の被災者が、反動で額を車内の窓枠に打ちつけた後、その反動で座席に頸部を強く打ちつけた。	65	50 ～ 99
6	11～ 12	訪問介護の業務を終えて車で帰社するため、交差点を東へ右折しようとしたところ、東から直進してきた車と衝突した。	61	1～ 9
7	10～11	訪問介護のため社用車で移動中、交差点内において右折のため、車を停止させ対向車や歩行者の通過待ちをしていたところ、後方から来た車が減速せずに走行してくるのを確認したが車は停止できず社用車の後方左側のバンパーを中心に全体に追突。その際に頸部と腰部を捻挫したものである。	40	1～ 9
7	18～19	利用者宅から自転車で事務所に戻る途中、左側に用水路のある道路を走行中、対向車を避けた際、側溝のへりの出っ張りに前輪が引っかかり左側に転倒、用水路に落下し左足踵骨骨折をした。	61	30 ～ 49

7	9~10	交差点にて自宅から勤務先に自転車で向かう途中に起きた十字路の交差点を自転車に乗って直進していたところ、交差点の左から直進してきた車と接触した。車の右バンパーと自転車が接触し自転車ごと右側に倒れる。	35	1~ 9
7	13~14	訪問先から事務所の駐車場に戻り、奥の駐車スペースに駐車するため場内を直進していた際、右側に並んだ駐車スペースに前向き駐車していた車両がバックしてきて、相手車両の右後方バンパー部分に、当方の運転席ドア前から右後ろドア付近にかけて引きずるように接触した。なお、相手車両も本会の事業用車両であり、運転者も本会の別の職員であった。両者とも相手の車両が認識できておらず、当方の前方不注意と相手の後方不注意が原因と思われる。	44	100 ~ 299
7	18~19	店舗レジ周辺にてゴミを集める作業中、ゴミ袋を右手に持ちレジ出入口から出ようと右足に体重を乗せた時に膝を捻ったような感じがあり崩れ落ちそうになった。慌てて立ち上がったが右足に体重をかけると膝に痛みがあり動かすことも立っていることも出来ない状態になった。	24	10 ~ 29
7	8~9	デイサービスご利用者の送迎のため、社用車使用にて、ご利用者宅へ向かう途中走行中に、右後方タイヤがパンクしたことにより、ハンドル操作を誤り、ガードレールに衝突したもの。 ※使用車両については、専門業者による3ヶ月点検、1年ごとの法定点検の定期点検及び車両使用者による乗車前の簡易点検を実施しており、特に異常はなかった。	45	100 ~ 299
7	8~9	高台にある施設内のデイサービス送迎業務中（利用者同乗なし）、ブレーキとアクセルを踏み間違えてフェンスを突きやぶり、4~5m下の私道に転落し、横転（車両上部が私道に接地する状態）した。	64	10 ~ 29
7	8~9	通所リハビリの送迎に向けて、利用者宅へ行く途中のトンネルで、ダンプトラックがスリップし、対向車線をはみ出し、自車と正面衝突した。	42	50 ~ 99
7	16~17	利用者の送迎中、交差点（信号はなく、相手側に、一旦停止がある。）に近付いたところ、左側から軽自動車が交差点に進入しそうだったためブレーキを踏んだが間に合わず、自車右前と相手の車の右後方が接触した。衝撃で相手の車は民家のブロックにぶつかった。	32	10 ~ 29

7	11～ 12	信号待ちのとき、後方より追突された。その後、追突車両は逃走した。	31	10 ～ 29
7	12～ 13	利用者宅へお迎えに行く途中の事故である。自転車で信号なしの交差点に進入した際、左方から交差点に進入した相手車と出会い頭に衝突し、救急車で病院に搬送された。診断の結果、右第1、第2趾骨折、四肢・腰部擦過傷、右膝半月板損傷で約1ヶ月間の加療を要する見込みである。通勤経路について、通常は自宅から直接利用者自宅へ向かうが、当日は靴を忘れたため会社に一度寄ってから出勤した。なお、会社での業務は行っていない。	46	1～ 9
7	16～ 17	仕事で利用者の買い物代行をするため、店へ行く途中、交差点で一時停止後に自転車を発進したところ、相手の自転車が右側の坂道より下ってきて、当方自転車側面に衝突し、自転車ごと地面に倒れた。その衝突で、当方右肩と両足を負傷した（特に右大腿部の負傷が大きかった）。	43	10 ～ 29
7	17～ 18	仕事場である小学校から自宅へ原付バイクで帰宅中、交差点付近を直進中に、左から右折しようとしていた車にぶつかり転倒した。	26	1～ 9
7	16～ 17	利用者の送迎業務にて運行中、ぼんやりしていて電信柱に衝突した。	66	10 ～ 29
7	16～ 17	利用者を全員送迎後、事業所に戻る途中、交差点付近で信号が変わったため、慌てて急ブレーキをかけたが間に合わず、信号待ちをしていた前から4台目の車に追突した。事故処理をしようとしたが、追突された車両が立ち去ったため、相手方は不明である。	33	1～ 9
7	15～ 16	駐車場を出て左折したとき、左に寄り過ぎて、そのまま電柱に衝突した。その際、アクセルを踏み込んだため、衝撃が強かった。	30 31	～ 49
9	13～ 14	職場の駐輪場から自転車で帰宅しようとして敷地境界にあるポールとポールの間を通ろうとした際、右によりすぎて右側のポールに自転車が当たってしまい右側を下に転	69	100 ～

		倒し、右手を地面についた時に、右手首を痛めた。		299
9	11～ 12	介護を行った利用者宅から次の利用者宅へ向かうため、電動アシスト自転車（26インチ、全長1,880mm、全幅585mm、ハンドルの高さ770～895mm、重量25.5kg、バッテリー容量8.9Ah）に乗り、歩道の車道側を走行中に横断歩道を渡ろうとし、赤信号だったためブレーキをかけ止まろうとした際、バランスを崩し自転車ごと転倒、左膝と左手の手の平を負傷した。	73	10 ～ 29
9	18～ 19	訪問介護を終了し自転車で営業所に帰る途中、T字交差点の青信号を渡ろうとした際、反対方向から左折してきた車と衝突し、右手首を骨折した。	55	30 ～ 49
9	9～ 10	利用者の送迎中、信号のある交差点で、左折しようとして信号待ちにて停車し、発進後に前車が停車した為、続いて停車したところ、後車の前方不注意によりノーブレーキで追突され、頸椎捻挫、背部、右手を挫傷した。	43	10 ～ 29
9	12～ 13	標識のない交差点で、被災者がその交差点を直進しようとした際に、右側から直進してきた車と接触した。	59	50 ～ 99
9	10～ 11	利用者迎えのため東に向かって走行中、前方停車車両を確認したため停止しようとしたが、操作を誤りブレーキを踏む事ができず、停車車両との衝突を避けるため、左にハンドルを切った所、歩道にあった電柱に正面からぶつかった。被害者は、当該送迎車両に同乗していた。	33	10 ～ 29
9	16～ 17	利用者宅への訪問に行く際、普段走行している道が除草作業の為、迂回した結果、疎水に架かる橋を越えなければならなくなった、疎水に架かる橋を渡る為、スロープを走行、スロープ走行中にバイクの一部が階段に接触し、ふらついた結果スロープから地面に転落、バイクと共に右側の地面に3m程度の高さから叩きつけられた。	49	30 ～ 49
9	16～ 17	信号の無い交差点で、被災労働者及び相手方も一旦停止をした、まず被災労働者が停止し、次に相手方が停止線で停止した、相手が停止した事を確認し、優先道路を走行中であった被災労働者が相手方に会釈し、ゆっくりと前進したところ、相手方の車が視界から外れた瞬間、左の後部座席の辺りに強い衝撃を受けた、そして腰部	44	50 ～ 99

		に痛みが走り、その数日後、首、左腕に痛みが出た。		
9	9~ 10	ヘルパー業務の訪問の為に向けて、公用車を一人で運転して移動中、前方不注意でよそ見をしてしまい、中央ラインをはみ出し、対向車との接触事故を起こす。事故日は、身体に異変を感じなかったが、翌日、首等に痛みが発生した。	42	10 ~ 29
9	9~ 10	工業高校裏側付近の農道にて、左カーブを曲がったところで前方に車と自転車があり避けようとして右側へハンドルを切り、ハンドル操作を誤り右側の2メートル程下の農地に上下さかさまに車ごと転落した。	25	10 ~ 29
10	15~ 16	訪問看護業務を終了して帰社の途中、交差点を通過しようとしたときに、右側の通りから走行して来た車と、当方の右側の後部と衝突。その際に、頸椎及び腰に捻挫及び打撲した。	39	10 ~ 29
10	17~ 18	信号、一時停止のない交差点で、通所児童の送迎で添乗業務を行っていた際、自転車ハイエースと軽自動車が出合い頭に衝突した。後部補助席で児童の対応を行っており、シートベルトをしていなかった為、衝突した際の衝撃で前方に投げ出され、前座席に全身を打ちつけ、首等の痛みを訴え、搬送される。	23	30 ~ 49
10	14~ 15	利用者宅でのサービス終了後、車で事務所へ戻る途中、信号の無い十字路で、曲がる道を1本先と思い込み、ブレーキをかけずに優先道路に侵入してしまい、優先道路からきた車と衝突、頸椎捻挫した。	59	30 ~ 49
10	21~ 22	訪問看護業務中、ご利用者様宅より施設へ戻る途中の交差点で1つ先の信号と勘違いをし通過。その際、右方向より交差点を通過しようとしている車と衝突し、左前にある歩道のポールにぶつかり車は停止、両者救急搬送となった。	49	50 ~ 99
10	9~ 10	利用者のデイサービスへの送迎中、被災者が運転している車が、信号のない交差点で、右折時、対向車待ちで停車している際、後方より進入して来た車に衝突された。被災者は頸部・腰部を挫傷した。	47	10 ~ 29
10	13~ 14	事務所からヘルパー訪問で利用者宅へ行くために原付で交差点を直進中、左側から左折車が出て来た。自動車との接触を避けるためブレーキをかけつつハンドルを右側へきったところ転倒し、右上腕骨折、打撲、擦過創を受傷した。	38	50 ~ 99
	9~	利用者の自宅へ訪問し、スーパーにて買い物を頼まれたので自転車にて走行中、大		10

10	10	きい通りを走ってきた自転車に細い道から自分が出た瞬間、出会い頭に驚き転倒し、右足を負傷した。	62	～ 29
10	17～ 18	利用者様宅から自転車で帰社途中、右折車が出て来たのでブレーキをかけたところ、台風で路面が濡れていたためタイヤが滑り転倒した。左半身に打撲と擦過創を負った。	57	50 ～ 99
10	10～ 11	利用者様宅にて訪問介護業務を終え自転車にて事業所に戻る途中、信号のない交差点において、北から南進してきた乗用車に衝突、転倒し、負傷したもの。	36	10 ～ 29
10	15～ 16	社用車で直進中に、反対車線の店舗から大型トラックが左折してきており、はみ出て来ないだろうと思ってそのまま走行していたため、こちらの走行車線に出てきたところに衝突してしまった。	32	1～ 9
11	15～ 16	社用車を運転中、犬が北側から南側へ横断したために、ハンドル操作を誤り、道路右側の電柱に衝突し受傷したものである。	59	10 ～ 29
11	17～ 18	デイサービスの送迎を終え、センターへ戻る途中、交差点で右側から出て来た車と接触した。ブレーキを掛けたが間に合わなかった。	28	100 ～ 299
11	17～ 18	訪問介護活動後の報告のため、自転車に乗り事務所へ向かっている途中、交差点を横断していた時、前方の自転車が急停止したため、それを避けるため、咄嗟にハンドルをきった際、電柱にハンドルを握っていた右手指の付け根、甲部を強くぶつけてしまった。その日は、患部を湿布し自宅療養したが、翌日、痛みも治まらず、腫れてきたので受診した。	55	50 ～ 99
11	8～9	自宅からお客様宅にバイクで移動中、停車していたタクシーが突然目の前に割り込みをして来たため、避けようとして転倒した。タクシーと接触したが、タクシーはそのまま逃走してしまった。	29	10 ～ 29
	17～	訪問先から事務所に原付バイクにて帰社途中、前方走行車両が道路渋滞により減速・停車していたことに気付かず、減速することなく、車両後部左に追突し、左側		30

11	18	面に接触した後、バイクごと転倒した。衝突の際の記憶が不明瞭だが、ノーブレーキでぶつかっている事から、脇見運転が原因かと思われる。警察・救急隊が到着後、救急搬送された。	49	～ 49
11	10～ 11	利用者宅より事業所に戻る際（もう1名のヘルパーと自転車で）に後方よりロードバイクが走っており、労働者が少し右に寄った際に後方から接触され転倒した。（ロードバイクはそのまま逃走）整形外科へ受診し、右足外果骨折と診断される。。	44	100 ～ 299
11	18～ 19	訪問の仕事を終え、会社に帰る途中対向車のヘッドライトがまぶしく前が見えなくなり、自転車が歩道と車道の縁石に衝突し左側に転倒し、左側肋骨を骨折した。	54	30 ～ 49
11	14～ 15	業務の為、自転車で走行中に坂道の途中で左に曲がろうとした際に転倒し、左第3、4中足骨骨折をした。	33	1～ 9
11	11～ 12	駅近くの道路の左側を自転車で走行中、左折しようとスピードを落とした際に、後方から来た自転車が避けきれず、右後ろに接触し、転倒、左膝をついた。	63	50 ～ 99
11	16～ 17	交差点で、職場の用事で軽トラックを運転中、赤信号のため停車していた際、後方から後継車に追突された。軽トラックはバンパーがへこみ、衝突した衝撃で、軽トラックの天井に頭を強く打ち、頭や首に痛みを感じたので、病院を受診した。	51	30 ～ 49
11	10～ 11	公用車を運転して移動中、十字路を通過しようとした際、左方向から直進した乗用車に左ドア部分に横から追突されてしまった。車両が横転し、右手の平に切り傷、右手首、首、肩、腰に打撲を負った。	39	10 ～ 29
12	16～17	当社デイサービス利用者（1名）を当社送迎車で送迎中、対向車線を走行した車が、凍結した路面でスリップして、対向車線を走行していた当社車両に突っ込んで来た。被災者は避けようとしたが、避けきれずに相手車両が当社車両の運転席ドアにぶつかり、負傷した。	35	10 ～ 29
12	11～12	利用者宅へ向かう為私有車にて運転中、道路上で右折するため停車したが、後続の大型トラックの前方不注意により追突された。首から肩にかけて痛みが強く、病	37	30 ～

		院へ救急搬送され治療を受けた。		49
12	14~15	被災労働者が勤める通所介護事業所から利用者を自宅に送迎して事業所に戻るとき、坂のカーブを通過しようとしたところ、アクセル・ハンドル・ブレーキ操作のミスにより、坂の路肩に乗り上げたため、車体が横転した。	28	10 ~ 29
12	9~10	顧客のサービス業務を終え、一旦事務所に戻るべく、北側歩道を自転車で走行中、北から南に向かって狭い道路を運行していた加害者の車が道路に書かれた「止まれ」の標示と、一旦停止の標示板を無視して左折するべく突っ込んできたため、被災者はブレーキを掛け左にハンドルを切ったが避けられず、自転車から放り出され転倒し、胸部を強打し、負傷した。	59	50 ~ 99
12	10~11	訪問介護を終え利用者宅からバイクに乗って移動中、坂道にて対向車が、停まっている車を避けるため車線を越えてきたので、それを避けようとしたところ転倒した。医療機関を受診し、左肘骨折と診断された。	62	50 ~ 99
12	12~13	利用者の買い物代行業務のため、スーパーに行こうとした時にT字路を右折した際、左側から直進してきた軽自動車と接触事故をおこした。本人は事故当時の記憶を失っている為、詳細は不明である。	68	30 ~ 49
12	17~18	利用者の買い物のケアで自転車にて移動中、角をゆっくりと左折したところ、前方から勢いよく来た自転車と接触した。こちらはスピードを出していないので止まることはできたが、バランスを崩して倒れ、咄嗟に左手をついた。	76	10 ~ 29
12	10~11	利用者宅を訪問しようと自転車で移動中、道路で左側から自転車に衝突され負傷した。	47	30 ~ 49
12	15~16	業務にてバイクで移動中、交差点において、トラックと衝突し負傷した。	48	50 ~ 99
12	11~12	足場材を倉庫で整理中、積み方が悪かったためフォークリフトを降りて積み込みを確認中、足場が崩れて下半身を負傷（骨折）した。	65	100 ~ 299

12	11~12	自転車で就業場所から利用者宅へ訪問中、不注意で側溝にはまり、フェンスで顔面を強打し、左膝を打撲した。	48	30 ～ 49
12	14~15	訪問介護サービスで買い物の援助のため、原付バイクで東から西に直進し、交差点に進入したところ、南から北に直進してきた自転車とバイク左側が接触して転倒し、両足・首・腰を負傷した。	46	100 ～ 299
12	12~13	訪問を終えてバイクで介護センターへ戻る道中、交差点内で右折しようとした際、前方より進行してくる車に気づき、ブレーキをかけたところ車輪が滑り、バイクとともに右側へ転倒し、右手骨骨折、右胸腹部を打撲した。	54	300 ～ 499
12	17~18	当日は事業所に駐車し、事業所から訪問先へは自転車で移動していた。訪問先で終業後、帰宅するために自動車を置いている事業所まで自転車で移動していた際、段差によろけて転倒し、右手・右手首を骨折した。	67	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html